

石川町文化協会だより

第75号

石川町文化協会

石川町関根165

石川町公民館内

☎0247-26-2566

発行責任者：鈴木 茂

令和8年度石川町文化協会総会開催

令和8年度石川町文化協会総会は、3月28日(土)午後1時半から文教福祉複合施設モトガッコを会場に首藤剛太郎石川町長、小玉陽彦石川町教育長を来賓に迎え開かれた。

議事は柄沢節子議長(古文書を読む会)が進行し、協会発展のための意見が活発に交わされた。令和7年度事業報告、会計報告並びに監査報告、令和8年度事業計画案、予算案が可決された。22団体が加盟し町民の皆様へも呼びかけながら、事業をさらに推進していくことが承認された。

令和8年度 事業方針

会員の視野拡大をめざしながら、民間諸団体、行政機関との連絡調整を密にし、地域の文化向上のための活動を推進する。



事業項目

- 団体ごとの日常的な活動
- 文化協会としての地域文化向上のための活動
 - ① 町民を対象にした文化事業
 - ② 会員の研修(研修旅行、会員研修)
 - ③ 「地域環境保全運動」の推進
 - ④ 町総合文化祭・芸能祭等への参加
 - ⑤ 文化協会活動の広報(文化協会だよりの発行)
 - ⑥ 文化協会加盟団体の後援

地域に根ざした文化活動を

石川町文化協会副会長 郷 徹

町民の皆様には、石川町文化協会の日頃の活動に対して多大なるご高配、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

本会には現在22団体が所属し、「地域の文化向上のための活動を推進する」との基本方針を掲げ活動しております。

年2回発行している「文化協会だより」では、所属団体の活動報告や開催事業の紹介等をお知らせしております。各団体共、自分磨きや人との繋がりを求め、切磋琢磨しながら活動しています。何よりもみんなで何かをする楽しさがあります。笑いがあります。それが芸術文化の役割でもあります。心身の健康にも、大きなエネルギーとなります。

しかし、現在、高齢化や入会者の減少、趣味の多様化が根源となり、団体の維持が難しくなっている問題もあります。町全体の文化を担う意識作りのためには、生き生きと活動している会員の現況を伝え、文化協会としての魅力を継続して発信していくこと、また、社会環境の変化にも対応しながら進んでいくことが大切な課題です。

本協会は、これからも町民の皆様と手を携えて歩んでまいります。石川町の文化を皆で、手を繋ぎ高め合っていきましょう。

今後とも、皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。



— 一面に咲くモネフィラ —

令和8年5月9日(土)「国立ひたち海浜公園」と大洗磯前神社参拝の旅が行われた。46名の参加であった。

海浜公園はネモフィラとポピーと菜の花のお出迎え。坂道を上り「見晴らしの丘」へ。真つ青な海と空が迎えてくれた。出発時は肌寒く風が強かったが、海浜公園は風も弱く日差しの良い日となった。

その後阿字ヶ浦温泉のぞみ食堂にて昼食。お腹が満足したところで大洗磯前神社へ。磯前神社は神々が君臨した聖地。「大己貴命」(おおなむちのみこと)と「少彦名命」(すくなひこなのみこと)が民を難儀から救うために降臨された神様である。「大己貴命」は慈悲深く、福德を授ける神として崇敬され、万民を病から救う神として信仰されている(だいきく様とも言われている)。

る。「少彦名命」は医療祖神と仰がれ、万民を病から救う神として信仰されている(一寸法師のモデルと言われている)。「磯神の鳥居」は岩礁に立つ鳥居で圧巻であった。いわれのあるいろいろな神様の詞書を熱心に読み、神々しさに手を合わせていた皆さんであった。

帰りの車

中では、ゲームを行い楽しい時間を過ごし、モトガッコに到着した。



— 岩礁に立つ鳥居 —



— 鳥居の前で 笑顔で記念撮影 —

ひたち海浜公園と大洗磯前神社参拝の旅

酒井 陽子

今回の旅行のために、久しぶりに朝5時過ぎに早起きして準備を整え、モトガッコに集合しました。7時半に出発したバスは、古殿町を通り目的地のひたち海浜公園に到着。依然と違う入り口に少し戸惑いましたが、シーサイドトレインで移動でき安心しました。

以前訪れた際は、一面にネモフィラが広がっていましたが。今回は見頃を過ぎてしまいましたが、それでも、たくさんのお花々が私達を待っていてくれたようで、嬉しかったです。みはらしの丘からの景色は最高で、海や菜の花畑を背景に友達と撮った写真は、良い思い出になりました。

その後、阿字ヶ浦温泉「のぞみ」で盛り付けのきれいな海鮮丼をいただきました。海の香りが詰まった大満足の昼食を終え、大洗磯前神社を参拝しました。「かねふくめんたいパーク」では、お土産からし明太を購入しました。会員の皆さんの夕飯のおかずを想像しながら、我が家でも美味しくいただきました。帰りのバスの車内では、ゲームやジャンケンで盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

細やかに気遣ってくださった役員の方々には、本当にお世話になりました。また、バスの中のガイドさんの知識豊富な案内には、深く感心させられました。また、来年もこの旅行に参加できたら嬉しいです。本当にありがとうございました。

石川女声コーラス

創立七十二周年を迎えて

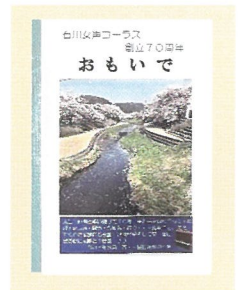
代表 三輪 恵美子

昭和29年に県内で最も早く合唱の産声を上げ、今年で72周年を迎えました。

令和6年には70周年の記念誌を発行することができ、現会員はもとより、多くの元会員の皆様やそのご家族、指導の先生方に支えられて長く継続できたことを改めて感じることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。



70
周年記念誌



町の音楽祭はもとより、県おかあさん合唱連盟にも加入し、合唱祭に参加しています。

今年は県南が担当で、10月11日に矢吹文化センターで開催致します。今、県内の合唱団の皆様をお迎えする準備をしているところです。

現在、毎週木曜日の午後1時から3時30分、モトガッコ音楽室で練習をしています。コロナ以降会員が減少しているため、会員募集のチラシや町民ニュース・夕刊いしかわで呼びかけ、徐々に会員が増えてきています。

一人で歌うのも楽しいですが、多くの人と歌うともっと楽しくなり、元気が出てくるから不思議です。みんなの気持ちが一つになって美しいハーモニーができた時の喜びは格別です。

「声を出して健康な生活を！声も悩みも愚痴も仲間と！一緒に楽しく歌いませんか!!」きっと元気が出てくると思います。

すみれ会

好きな踊りで 生活に潤いを

1988年に発足した日本舞踊『すみれ会』、趣味の多様化に伴い令和8年現在は会員5名で活動中である。

現体制になってから3年が経ち、毎月第2・第4土曜日の貴重な休日を利用し、おさらいを中心とした自主練に励んでいる。一方、児童には先生がついて指導している。

私たちは好きな踊りを通し、脳の活性化と健康維持、生

活に潤いや適度な緊張感を求め、イベント等にも積極的に参加していきたいと考えている。

今年度の活動としては、町や地区の芸能祭を目標としている。稽古後は、お茶を楽しみながらのおしゃべりに花を咲かせ、充実したひと時を過ごしている。

これからも伝統芸能を守り、町の文化発展に協力していきたいと思っている。



生誕一〇〇年

「かこさとしの絵本」の世界をもう一度

推薦者

富岡ケイ子



五十年前、仕事で我が子との時間が少なかった私。せめて親子のふれあいをと始めた寝る前の「読み聞かせ」。かこさとしの「だるまちゃんシリーズ」や「からだのほん」が大好きで何度も何度も読んでました。

そして時は過ぎ二十数年前からは孫達へと受け継がれた「ばあちゃんの読み聞かせ」。パパが読んでもらっていた色あせた本が大のお気に入り。私にとっても科学絵本作家「かこさとし」の絵本のファンとなっていました。

先日、上野の国立科学博物館で企画展『生誕一〇〇年記念かこさとしの科学絵本』が開催されていたので友達とみてきました。実に細かく正確に描かれている原画の数々を目にし圧倒され、科学絵本作家に感動でした。「だるまちゃん」と

「だるまちゃん」は、お友達の持ち物に憧れる子どもの純粋な気持ちとそれを見守る父親の温かい姿が描かれています。単に欲しいものを与えるのではなく身の回りにあるものを沢山並べ選択肢を与える展開が魅力です。うちわや履き物など沢山の種類がずらりと並ぶ細やかな描写が圧巻です。ページをめくるたび新しい発見や創造性が広がり読み手も聞き手もワクワクさせられます。

今でも人気の「からすのパンやさん」も見開きいっぱい描かれた何種類もの創作パンには大興奮。選ぶ楽しさが広がります。

また、かこさとしの最初の科学絵本と位置づけられる「かわ」は水源から海までの川の流れとその環境変化を連続的に描かれ、後に絵巻仕立ての広がる絵本として出版されている興味深い本です。九十二歳まで精力的に創作活動したかこさとしの絵本にちよつと触れてみませんか？

(石川町立図書館にあります)

編集後記

本協会は、昭和52年に結成された。文化協会だよりは63年に第一号を手書きで発行。それから38年間、町民の皆様へ活動の様子を伝え続けている。そして長い歴史を刻み、今回75号発行となった。皆さんのご支援をいただきながら、わが町の文化を高めていく一助となるよう頑張っている。3面の「女声コーラス」は、本協会発足時から共に歩んできた団体である。これからも、皆で続けて繋がって、共に文化を高め合える文化団体として歩み続けて行く。また、狛犬、鉱物、歴史、自然、そして温かい人々、我が町の宝を発信し続けていきたい。文化協会の役割はここにあるのだと思ひ続けながら。

(熊井)

予告 文化協会音楽事業

津軽三味線 輝&輝 (2名編成)

日時: 令和8年11月7日(土) 開演14:00

場所: 石川町共同福祉施設ホール

前売り券 2,000円 (近日発売開始)

・津軽じょんがら節
・民謡メドレー 他



2008年に結成された
本格派津軽三味線ユニット